



A S R補修について学ぶ 県内業者30人が参加

福井土建(倉吉市西倉吉町)が施工中の県道巖城上灘線(巖城橋)橋梁補強工事現場で、亜硝酸リチウム内部圧入によるA S R(アルカリ骨材反応)補修の現場研修が18日に行われた。一般社団法人コンクリートメンテナンス協会から講師を招いた研修には、県内業者約30人が参加。

まず、座学でA S Rによるコンクリート構造物の劣化のメカニズムや、亜硝酸リチウムでの補修技術などが紹介された。このほか、亜硝酸リチウムでの補修施工実績が全国で約100件あり、施工後の追跡



現場で説明を聞く参加者

調査でもA S R膨張が進行する可能性が限りなく低いという説明があった。

その後、実際に施工現場でA S Rリチウム工法によるA S R補修を見学。参加者は興味深そうに説明を聞いた。

ひよこ
(雑)